

第62号

Super Highway

JR東労組バス関東本部

発行日
2015. 12. 5

スーパーハイウェイ

発行責任者：遠山真一郎
編集責任者：荒井雄太
東京都渋谷区代々木2-2-6
JR新宿ビル13F
Tel03-3375-5041 (NTT)

「労働科学研究所」 夜勤・交代勤務検定(シフトワークチャレンジ)開催

2015年12月4日(金) JR東労組中央本部にて労働科学研究所が実施している「夜勤・交代勤務に関する検定試験(シフトワークチャレンジ)」の事前講習が実施され、JRバス関東の組合員を始め、JRバス東北、運車部会、医療部会、中央本部から総勢約80名が参加しました。

講師の労働科学研究所主任研究員の松元俊氏から、数字やデータに基づき医学、生理学の観点から人間が夜間には昼間と同じように働けないこと、夜に働くということがどのようなことか、そのリスクにどのように向き合えばいいのかなど、夜勤・交代勤務について概説して頂きました。

今後は、夜勤・交代勤務に関する検定試験「シフトワーク・チャレンジ」への挑戦を通じて、受講者、受験者のみならず職場全体でシフトワークへの理解を深めていきます。



労働科学研究所・松元主任研究員

松元主任研究員の概説(抜粋)

- 営業支店で行われている2交代勤務を実施しているのは世界で日本だけ。
- 夜勤・交代勤務編成に対する国際的なガイドラインにルーテンフランツ9原則がある。
①連続夜勤は避ける ②日勤開始時刻は早くしない ③シフト交代時刻は個人に融通性を持たせる ④夜勤は他の勤務より短くすべき ⑤短い勤務間隔は避ける ⑥連続勤務を行う場合は少なくとも2連続休日の週末を含むべき ⑦連続勤務は時計回りの正循環にする ⑧勤務開始から休日までの1周期は長くしない ⑨シフトの循環は規則正しく
- 青色光を多く含むLED照明は発がん性を高める可能性がある。
- 夜勤中の眠気は血中アルコール0.08%相当以上に匹敵する。

重大事故発生時刻

「2012 関越道事故 4:40」
「2012 東北道事故 4:10」
「2014 北陸道事故 5:00」
「2015 東名阪事故 3:15」

交代勤務のリスクを 職場で共有しよう!